

■1日目 11月27日(金)

第1会場		第2会場		第3会場		第4会場		第5会場		第6会場		ポスター会場・展示会場	
2F 国際会議室		2F 小ホール		1F 情報プラザ		6F 第7会議室		3F 第3会議室		5F 第6会議室		1F 多目的ホール	
8:00													8:00
9:00	開会式	8:55-9:55 教育セミナー1 「Beyond Seizures:これからのてんかん診療に精神科は何ができるか」	8:55-10:25 ワークショップ1 災害対策委員会 「災害時の総合病院精神科における黒タグを含む倫理的課題の検討」	8:55-10:25 シンポジウム1 「最新の知見を総合病院の診療に活かす:臨床研究最前線」	8:55-10:25 シンポジウム2 「クリニカルパールとしての精神病理:精神科臨床にもう一匙」	8:55-10:25 シンポジウム3 児童・青年期委員会 「児童青年期精神科診療におけるコンサルテーション・リエゾン精神医学のエッセンス」							9:00
10:00	10:05-11:05 会長講演 「選ばれる総合病院精神医学 ー市民と共に歩み、未来を拓くー」	10:05-11:05 教育セミナー2 「痛覚変調性疼痛の診かた」											10:00
11:00			10:40-12:10 ワークショップ2 「終末期の緩和ケアにおける身体拘束再考 ～「安全管理」からの転換～」	10:40-12:10 シンポジウム4 「治療困難な症状に対する精神療法を一人でも多くの方に届けるために:アクセプタンス&コミットメント・セラピーと森田療法の対話」	10:40-12:10 シンポジウム5 治療戦略検討委員会 「次世代のリエゾン精神医学指針 ー日常臨床の死角を埋める5領域のエッセンスー」	10:40-12:10 シンポジウム6 「ついに完成! GHPハンドブックのエッセンスを読み解く」							11:00
12:00	11:15-12:15 教育講演2 「精神障害を有する人のがん診療格差の是正に向けて」	11:15-12:15 教育セミナー3 「摂食症の病態解明最前線ー基礎研究が拓く新たな治療戦略ー」 「せん妄に関する基礎研究の現在地」											12:00
13:00	12:25-13:25 ランチョンセミナー1 共催:ヴァイアトリス製薬合同会社	12:25-13:25 ランチョンセミナー2 共催:エーザイ株式会社	12:25-13:25 ランチョンセミナー3 共催:田辺ファーマ株式会社	12:25-13:25 ランチョンセミナー4 共催:第一三共株式会社									13:00
14:00	13:35-14:20 会員総会 金子賞・黒澤賞授与式												14:00
15:00	14:30-14:50 金子賞受賞講演	14:30-16:00 シンポジウム7 「総合病院における死別支援(悲嘆ケア)の現状と課題」	14:30-16:00 ワークショップ3 認知症委員会「多職種で考える認知症診療ー症例検討から学ぶ実践的アプローチー」	14:30-16:00 シンポジウム8 「総合病院からスティグマのない精神医学へ」	14:30-16:00 シンポジウム9 有床総合病院精神科委員会 「有床総合病院精神科病棟の人口減少時代における持続可能モデル」	14:30-16:00 シンポジウム10 「総合病院精神科における専門性の高い看護師の役割と活用可能性」						15:00	
16:00	15:00-16:00 教育セミナー4 「一般精神科診療に活かす児童精神科の視点 ー成人期の症状を発達の連続性から捉える」												16:00
17:00	16:10-17:40 シンポジウム11 「精神科リエゾン専門医の極意 ～今ここにあるニーズに応える～」	16:10-17:40 シンポジウム12 臓器不全・移植関連委員会 「身体疾患ケアにおけるチーム医療の現場 ー専門性の発揮と協働のクロスロードー」	16:10-17:40 ワークショップ4 医療者支援委員会「支援者を支援する技法 ～ AMBITを学び、体験しよう」	16:10-17:40 シンポジウム13 自殺問題委員会 「総合病院における自殺予防戦略」	16:10-17:40 シンポジウム14 「精神科医の専門性を拡張する:ダブルボードというキャリアの可能性」	16:10-17:40 シンポジウム15 地域連携委員会 「精神疾患を有しつつ維持透析を必要とする人への支援をめぐる地域連携の現状」						17:00	
18:00												17:50-18:50 ポスターディスカッション	18:00
19:00													19:00

■2日目 11月28日(土)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	ポスター会場・展示会場
	2F 国際会議室	2F 小ホール	1F 情報プラザ	6F 第7会議室	3F 第3会議室	5F 第6会議室	1F 多目的ホール
8:00							
9:00	8:40-9:40 教育セミナー5 「総合病院精神科の存在価値2026:診療報酬改定と行政施策の動向」	8:40-9:40 教育セミナー6 「身体症状症、どう診る？どう治す？—総合病院の一般外来でできる実践的アプローチ—」	8:50-10:20 ワークショップ5 「「いつものせん妄」で終わらせない～一般病棟で見逃さないカタルニア～」	8:50-10:20 シンポジウム16 医療政策委員会 「精神医療の中核である総合病院精神科」	8:50-10:20 シンポジウム17 「若手精神科医は総合病院精神医学に何を求めるか？」	8:50-10:20 シンポジウム18 がん対策委員会 「非がん緩和ケア・新時代へのアップデート—がん診療で培ったものと、これから必要なもの—」	
10:00	9:50-10:50 教育講演3 「周産期メンタルヘルス診療の基本」	9:50-10:50 教育セミナー7 「酒はどこでも買える、治療はどこで受けられる？—AUDの治療ギャップを考える—」					
11:00	11:00-12:00 教育講演4 「総合病院における簡易支持的精神療法—最新のエビデンスから臨床実践まで—」	11:00-12:00 教育セミナー8 「総合病院精神科における摂食症診療—身体管理と精神療法をつなぐ枠組み—」	10:30-12:00 ワークショップ6 てんかん委員会 「“なんとなく診ている”てんかん診療を見直し、精神科医として“どう関わるか”を実践的に考える」	10:30-12:00 シンポジウム19 日本睡眠学会合同シンポジウム 「総合病院精神科が切り開く、睡眠医学の未来」	10:30-12:00 シンポジウム20 無床総合病院精神科委員会 「無床総合病院精神科の未来を問う ～診療報酬改定が求める役割」	10:30-12:00 シンポジウム21 若手委員会「真の医療人として:総合病院精神科における初期臨床研修の意義と課題」	
12:00							
13:00	12:10-13:10 ランチョンセミナー5 共催:大塚製薬株式会社	12:10-13:10 ランチョンセミナー6 共催:武田薬品工業株式会社／ルンドベック・ジャパン株式会社	12:10-13:10 ランチョンセミナー7 共催:大正製薬株式会社／Meiji Seikaファルマ株式会社	12:10-13:10 ランチョンセミナー8 共催:塩野義製薬株式会社			
14:00	13:20-14:50 シンポジウム22 「せん妄研究推進のヒントと展望」	14:00-15:45 映画上映会『どうすればよかったか』	13:20-14:50 ワークショップ7 「摂食障害の治療をめぐる臨床倫理的葛藤を話し合おう」	13:20-16:20 シンポジウム23 学術交流委員会 「東アジア合同シンポジウム」	13:20-14:50 シンポジウム24 身体科救急連携委員会 「救命救急センターから始めるこどもの自殺未遂者支援」	13:20-14:50 シンポジウム25 リエゾン多職種委員会 「今、あらためて精神科リエゾンチームを考える～医療者と当事者がともに考えるこれからの精神科リエゾンチーム」	13:30-15:30 キャリアカフェ2026 「リエゾン精神科医の恩返し」
15:00	15:00-16:30 シンポジウム26 周産期メンタルヘルス委員会 「周産期メンタルヘルス診療ガイドブックを用いた意思決定支援」		15:00-16:30 ワークショップ8 「総合病院におけるACTのケース・フォーミュレーションと実践(入門編)」		15:00-16:30 シンポジウム27 診療報酬問題委員会 「総合病院精神科の持続可能性に向けて診療報酬をどのように活用すべきか～令和8年度診療報酬改定を中心に～」	15:00-16:30 シンポジウム28 電気けいれん療法(ECT)委員会 「ECT多施設エキスパートコンセンサスによる実践アルゴリズムの改訂」	
16:00		休憩 16:00-16:30 映画監督対談					
		閉会式					
17:00							